

## 第7回地域協議会における主な意見

●新しい学校の基本方針，設置学科，特色ある教育などについては，基本的な合意がなされた。

### ●新しい学校の教育内容について

①目指す学校像にある「地域に開かれ，地域に貢献できる学校」は，新しい学校の特色ある教育として大事な項目である。

②単純に新野高校と阿南工業高校が一緒になるというのであれば，志望する生徒は変わらないので魅力ある学校を作ってほしい。

③総合学科には4系列あり，大きな可能性を含んでおり，その点をアピールできれば，受験する子どもたちに魅力が感じられるのではないか。

④工業科の生徒も，総合選択制を活用することにより，進学希望に対応することができる。

⑤教育に特色を持たせて，就職を中心に産業界が期待するような人材の育成を図るべきである。

⑥技術面を基本においた学校にするというビジョンを持たすことが大事である。

⑦総合学科でも専門教育をすることはできるが，その内容を整理しないと専門性は薄れるのではないか。

### ●教育環境の整備について

①現有施設を活用するのはよいが，財政にしばられないで議論することも必要である。

②新高校を新しい土地に設置するのは難しいだろうが，ある程度の理想も加えて，議論する必要がある。

- ③現有施設をできるだけ活用するというのが議論の前提である。
- ④夢を実現するための意見を出し合って、まとめる方向で進んでもらいたい。協議会での意見を採用するかどうかは県教委に決めてもらえばよい。
- ⑤ホッケーや野球などの部活動ができる環境も念頭においてほしい。

## ●その他

- ①阿南工業高校と新野高校が一緒になっただけの学校では、新しい高校とはいえない。教育内容も新しいものにして、県南でも魅力ある総合的な実業高校を作るという意気込みがなければ、新しい学校は作れない。
- ②将来は、海部郡や那賀郡を含めた県南全体のことを考え、もう少し斬新な発想で魅力ある学校を作ってはどうか。
- ③阿南地域では、普通科を2校に集約し、実業高校を1校つくるという方向を打ち出すべきである。
- ④将来的には、総合学科を中心に据えた総合高校を作るべきである。
- ⑤新しい高校の設置学科については、現段階では工業科と総合学科を柱とし、将来的には商業、福祉などを検討することでよいのではないか。
- ⑥商業科の導入を検討するためには、富岡東高校関係者を入れて協議する別の機会を設けるべきではないか。
- ⑦富岡東高校の商業科をなくすことは難しいのではないか。商業科の導入については、生徒のニーズや産業界の受け皿を見定めながら、慎重に議論する必要がある。
- ⑧本県には、商業科の教育内容と変わらないことを勉強している総合学科高校もある。新しい高校の情報ビジネス系列は商業を勉強するのだとアピールすればよい。